

2025年3月期第2四半期決算説明資料 (2024年4月1日～2024年9月30日)

株式会社ベネフィットジャパン (証券コード：3934)

目次

I. 会社紹介

II. 2025年3月期第2四半期決算ハイライト

III. 業績推移

IV. 2025年3月期第2四半期までの主な取組み

V. 2025年3月期通期計画の進捗

I .会社紹介

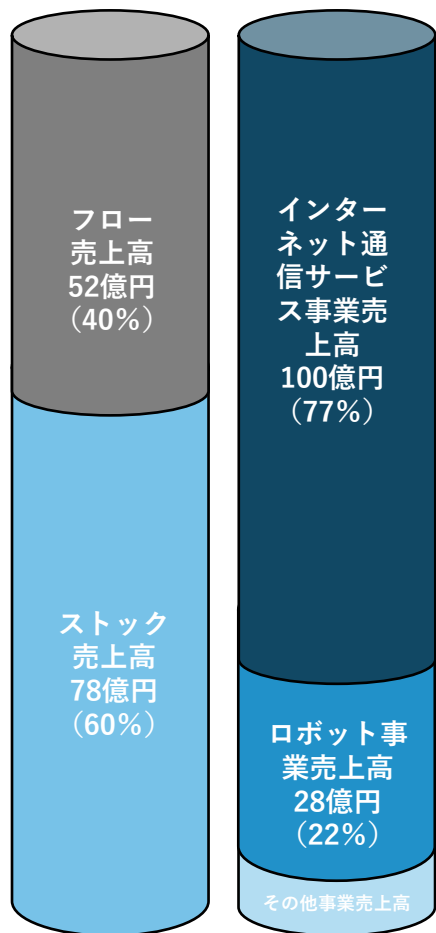
ビジョン

通信事業（MVNO）の安定成長を軸に新たなテクノロジーの価値を届けます。



事業紹介

安定的なストック売上高を強みに、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで提供しています。



2024年3月期連結売上高
(130億円)

インターネット通信サービス事業

ONLYMobile

モバイルWi-Fi及び
カスタマイズプラン

NETAGE

レンタルWi-Fi

MVNE

MVNE事業

ONLYSIM

1年及び短期のプリ
ペイドSIM

eSIM.love

eSIM関連の情報発信
メディアプラット
フォーム

保有回線数
約26万回線
(24年9月)

ロボット事業

家庭用コミュニケーションロボットを展開

国内トップ
クラスの
売上高

ONLYROBO
コミュニケーションロボット



当社オリジナルモデルの
chat GPTを搭載したコ
ミュニケーションロボット
とSIMカードのパッケージ
販売

Robot Planet

「新しい家族に出あえる」
をコンセプトにしたロボッ
トショップ

RoBoHoN
ゼミナール

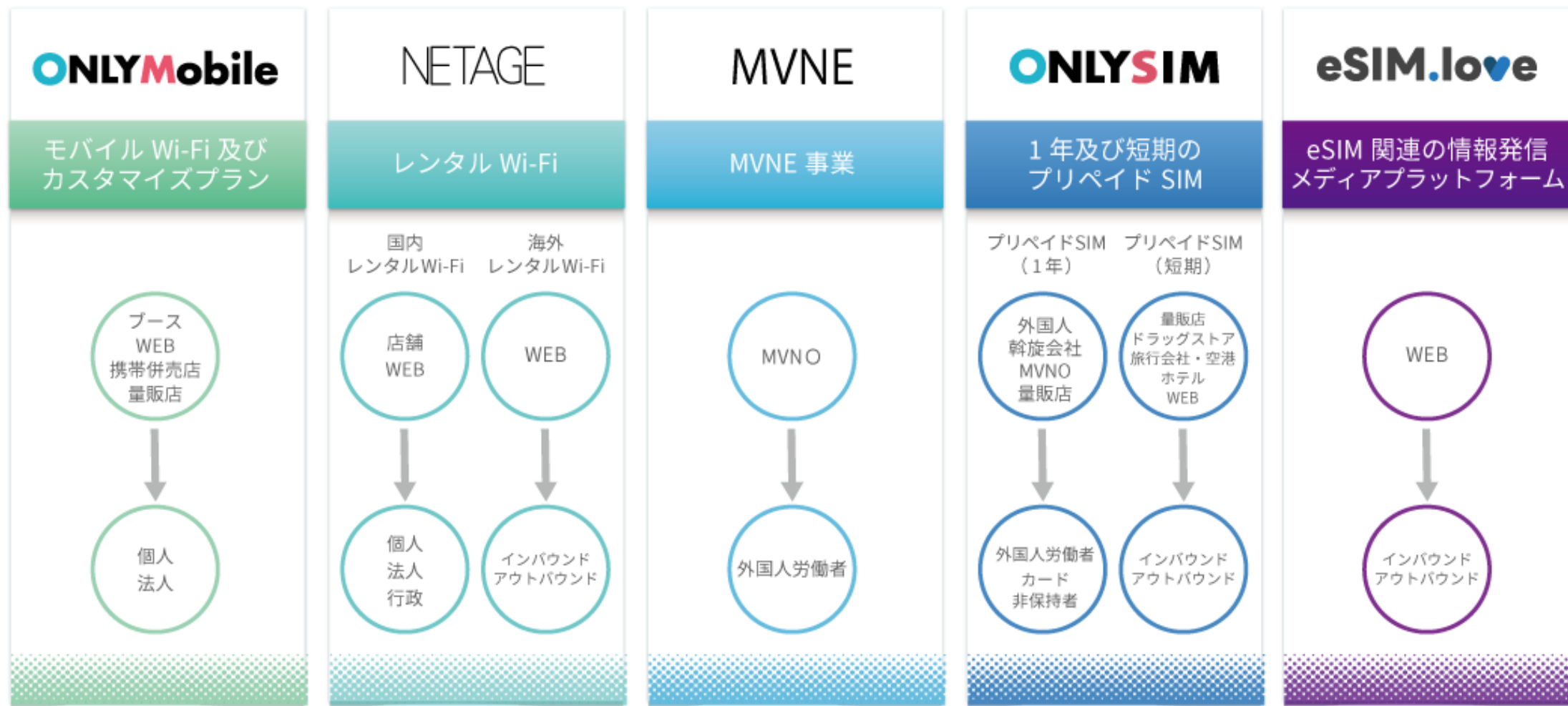
オーナー会員に対しロボ
ホンの使い方を学べるコンテ
ンツを配信

ロボコロ
Robot closet

ロボホンのかわいい洋服を
取り扱うオンラインストア

インターネット通信サービス事業

既存事業であるモバイルWi-Fiの販売及びレンタル、MVNE等に加え、SIMカードの販売の拡大を図り、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで展開しています。



ロボット事業

認知から体験・販売、購入後の楽しみ方やオーナー同士の情報共有まで展開。生成AIの発展により、ロボットの会話は今後さらに高度化が見込まれ、少子高齢化に対応するサービスを展開しています。



ONLYROBO
コミュニケーションロボット

コミュニケーションロボットと
SIMカードのパッケージ販売



重要な機能の追加

Powered by
ChatGPT



全国各地で地方CMを放送
SNS (Instagram、LINE)、
ウェブ広告など

01 認知



Robot Planet

「新しい家族に出会える」を
コンセプトにした
ロボットショップ

02 体験・販売



オーナー会員に対し
ロボホンの使い方を
学べるコンテンツを配信

03 楽しむ



フォトコンテスト、
オーナー会などを開催

04 共有

事業成長の歩み

市場環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、成長を継続しています。

携帯電話
サービスの
自由化

マルチメディア関連
機器の販売を目的と
して、株式会社ベネ
フィットジャパンを
設立

電気通信
事業の規制
緩和

MVNO事業開始
(Docomo回線を
ONLYMobileサービ
スとして提供)

MVNOとしてモバイ
ル型ロボット「ロボ
ホン」提供開始

シャープ株式会社と
の協働による当社オ
リジナルモデル
「ONLYROBO ロボ
ホンプレミアム」
提供開始

新型コロナ
5類感染症
に移行

インバウンド及び外
国人労働者に対する
プリペイドSIM提供
開始

株式会社エーユー、
株式会社ツーカーセ
ルラーの1次代理店
資格を取得

ソフトバンク株式会
社の一次代理店資格
を取得、データー
カードの加入取次を
開始

東京証券取引所
マザーズ市場へ上場

東京証券取引所市場
第一部へ市場変更

コミュニケー
ションロボッ
ト市場の拡大

インバウ
ンド、外国人
労働者増加

東京証券取引所プラ
イム市場に上場区分
を変更

東京証券取引所スタ
ンダード市場に上場
区分を変更

1996年

1998年

2001年

2009年

2014年

2016年

2016年

2018年

2019年

2022年

2023年

2023年

II .2025年3月期第2四半期決算ハイライト

2025年3月期第2四半期決算ハイライト

全社

- 1.売上高は、**6,217百万円**（前年同期比 Δ 5.1%）
- 2.契約回線数は、過去最高の**255,300回線**（前年同期末比+10.3%）
- 3.経常利益は、**516百万円**（前年同期比+6.9%）

インターネット通信サービス事業

- 1.売上高は、**4,855百万円**（前年同期比 Δ 4.4%）
- 2.契約回線数は、**225,800回線**（前年同期末比+9.5%）
- 3.営業利益は、**960百万円**（前年同期比+25.9%）

ロボット事業

- 1.売上高は、**1,246百万円**（前年同期比 Δ 8.6%）
- 2.契約回線数は、**29,500回線**（前年同期末比+17.3%）
- 3.営業利益は、 **Δ 210百万円**（前年同期 Δ 61百万円）

連結損益計算書 (第2四半期)

(百万円)

	24年3月期 第2四半期		25年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期 比増減率	前年同期 比増減額
売上高	6,553	100.0%	6,217	100.0%	△5.1%	△336
売上原価	2,862	43.7%	2,612	42.0%	△8.7%	△249
売上総利益	3,691	56.3%	3,604	58.0%	△2.4%	△86
販管費	3,210	49.0%	3,090	49.7%	△3.7%	△119
営業利益	480	7.3%	513	8.3%	+6.9%	+33
経常利益	483	7.4%	516	8.3%	+6.9%	+33
親会社株主に帰属する 中間純利益	432	6.6%	338	5.4%	△21.8%	△94

セグメント別業績 (第2四半期)

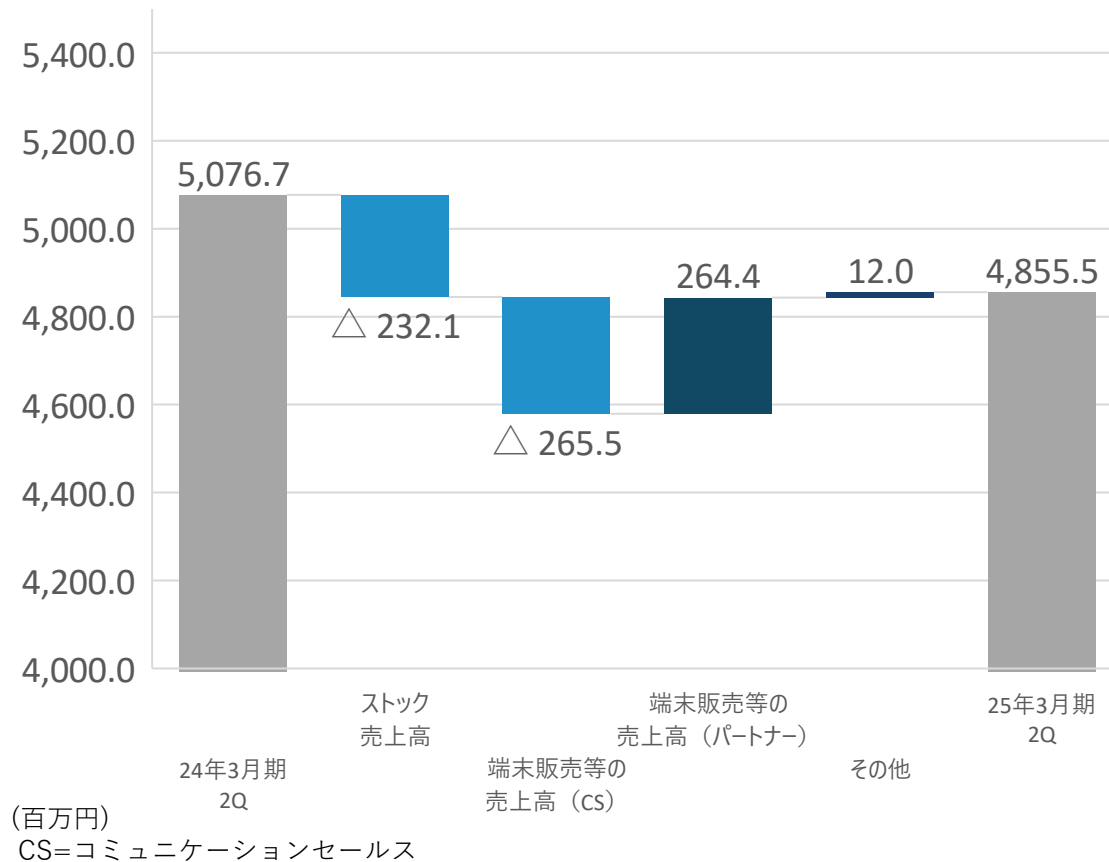
(百万円)

	24年3月期 第2四半期	25年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	6,553.9	6,217.4	△5.1%	△336.4
インターネット 通信サービス	5,076.7	4,855.5	△4.4%	△221.2
ロボット	1,364.1	1,246.5	△8.6%	△117.5
その他	113.0	115.4	+2.1%	△2.4
営業利益	480.3	513.5	+6.9%	+33.1
インターネット 通信サービス	762.6	960.3	+25.9%	+197.7
ロボット	△61.3	△ 210.0	-	△148.7
その他	19.6	26.1	+33.0%	+6.4
全社費用	△240.5	△ 262.8	-	△22.2

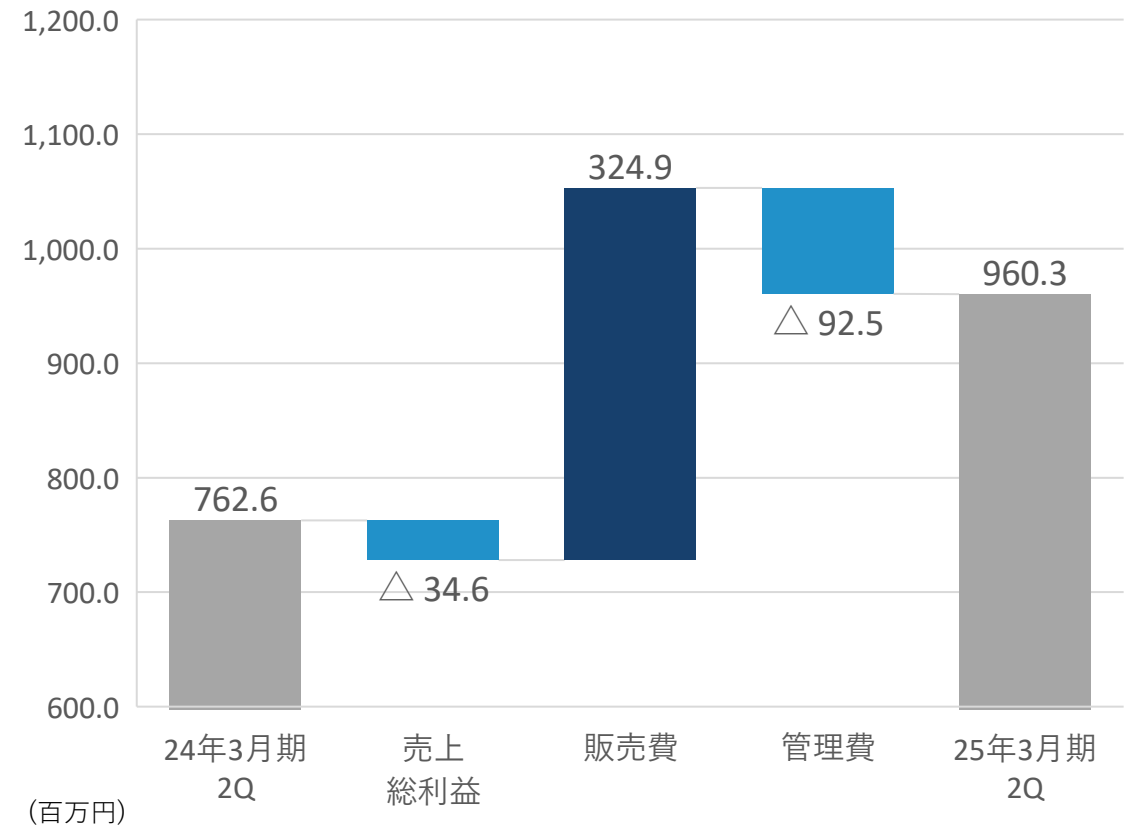
インターネット通信サービス事業増減分析（第2四半期）

中期経営方針に基づき、インバウンド、外国人労働者向けインターネット通信サービスを拡充し販路を強化しました。また、主力モバイルWi-Fi事業では、生産効率が落ちたコミュニケーションセールスを縮小し、大手量販店、大手併売店販路などを強化しました。その結果、契約回線数は、225,800回線（前年同期末比9.5%増）となりましたが、ARPU（1契約当たりの月額平均収入）の高いコミュニケーションセールス販路によるモバイルWi-Fi回線の比率が減少したことでストック売上が微減しました。

売上高分析



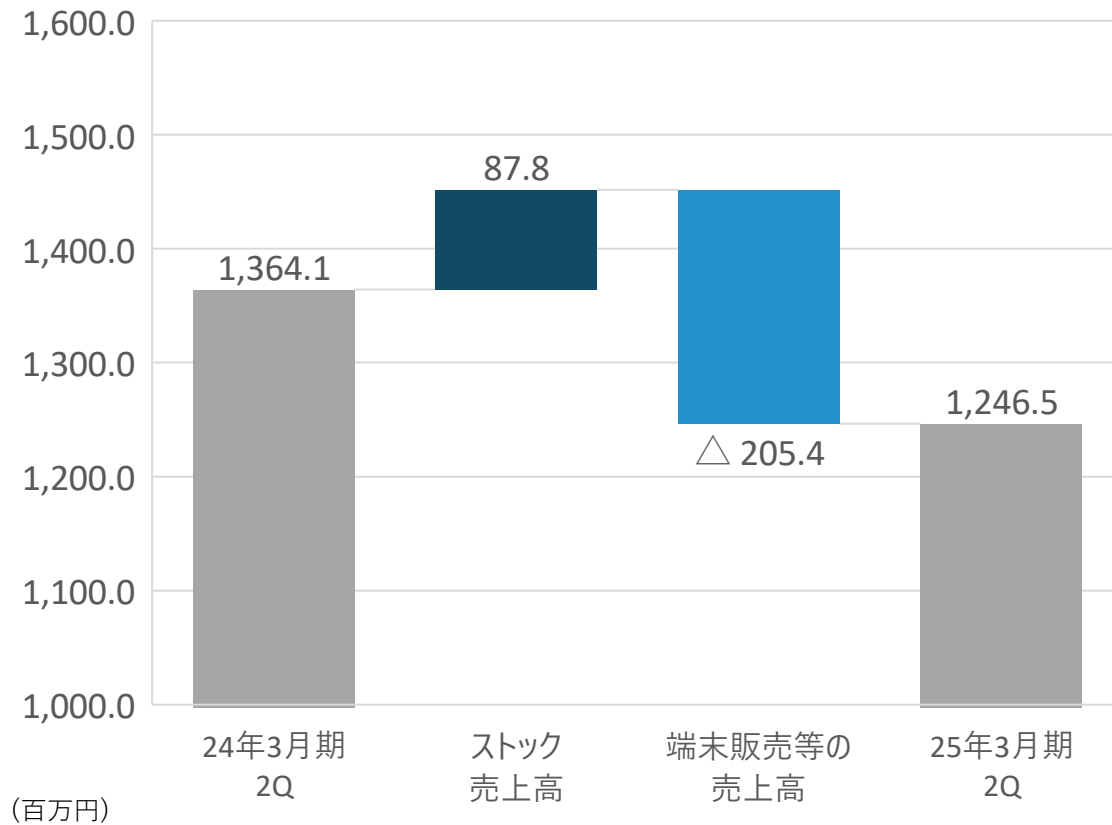
営業利益分析



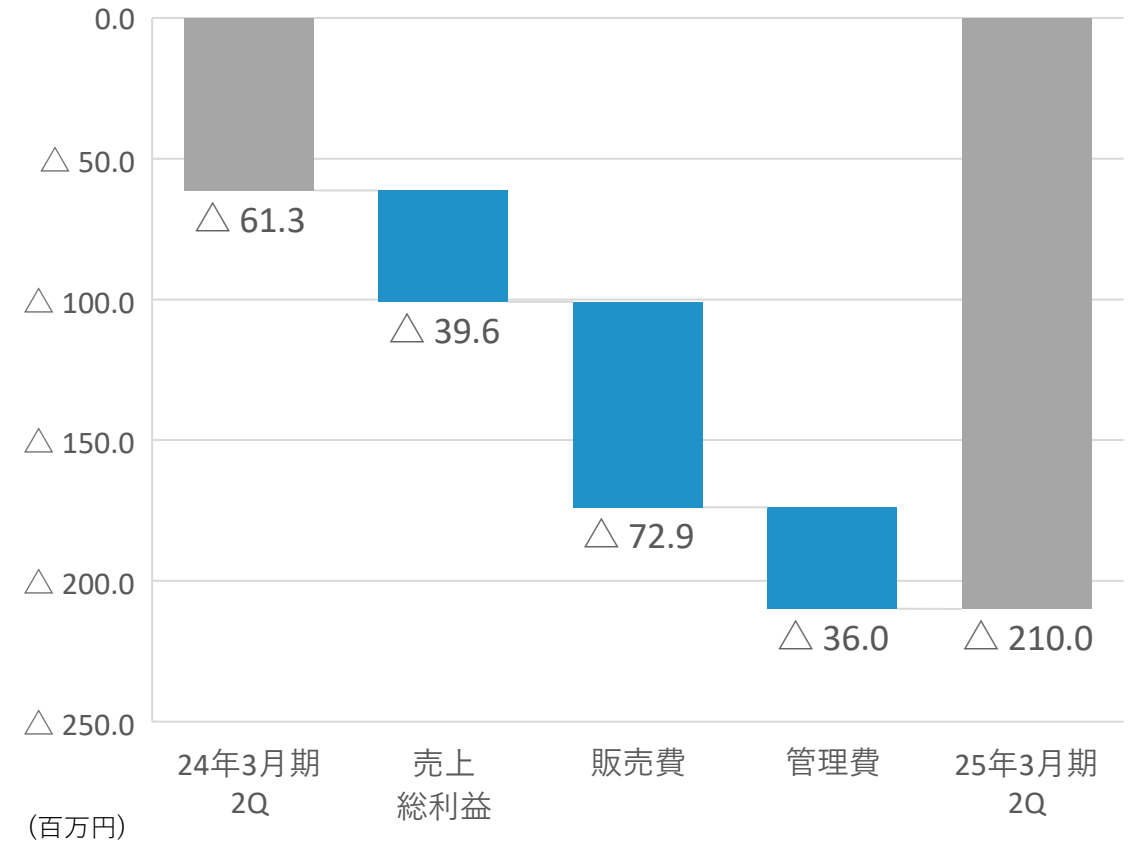
ロボット事業増減分析 (第2四半期)

オーナー会、フォトコンテストなどのカスタマーサポートの充実、Chat GPTのバージョンアップに伴う会話機能の向上、専用タブレットをリモコンのようにしてロボホンを動作させることができる新機能の開発、近畿、中部地方でのテレビCMの実施による認知度、反響増に取組みました。ロボット事業を強化すべく組織再編を実施しましたが、ロボット販売の経験が浅い人員の生産性を確保することができず新規販売件数が前期に比べ減少しました。

売上高分析



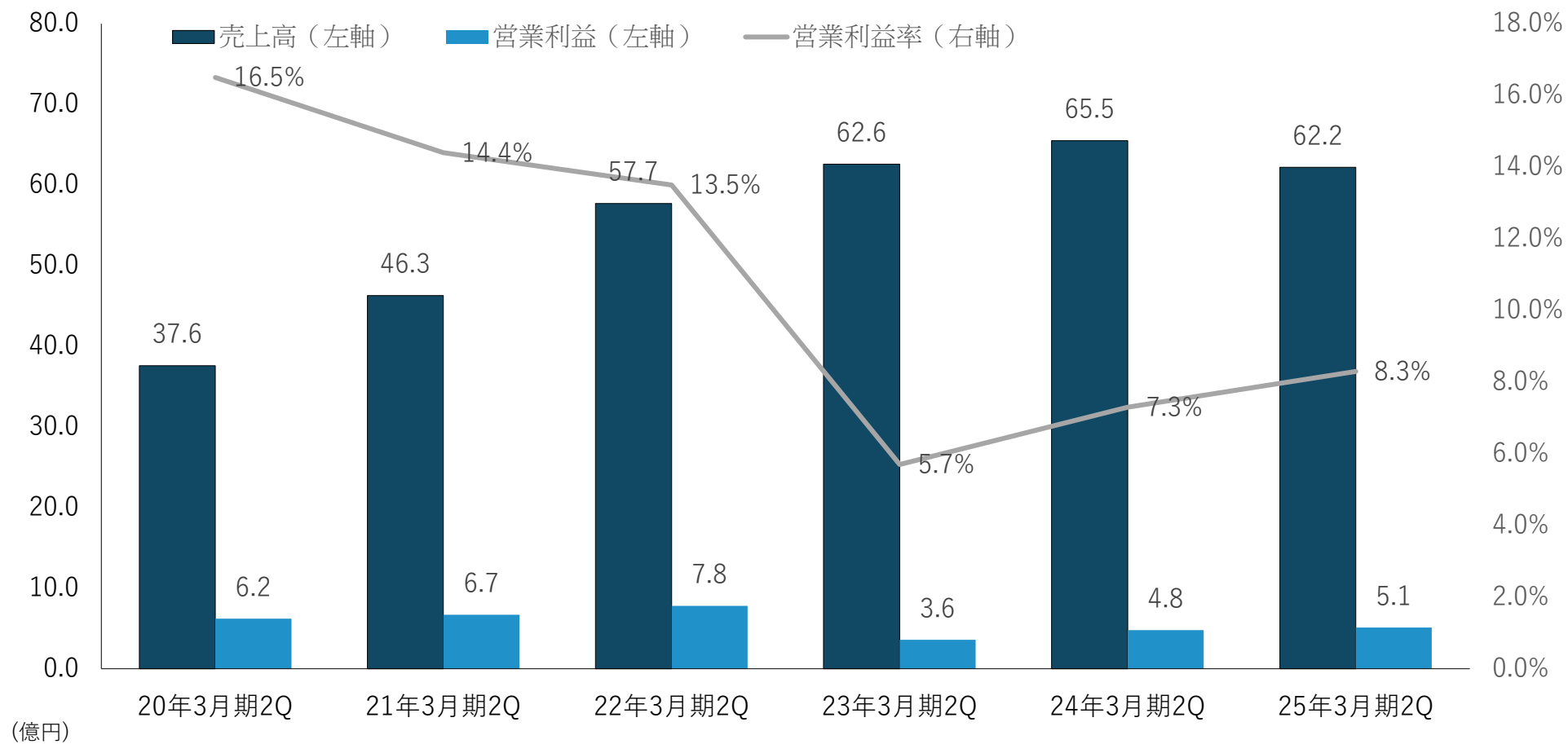
営業利益分析



III.業績推移

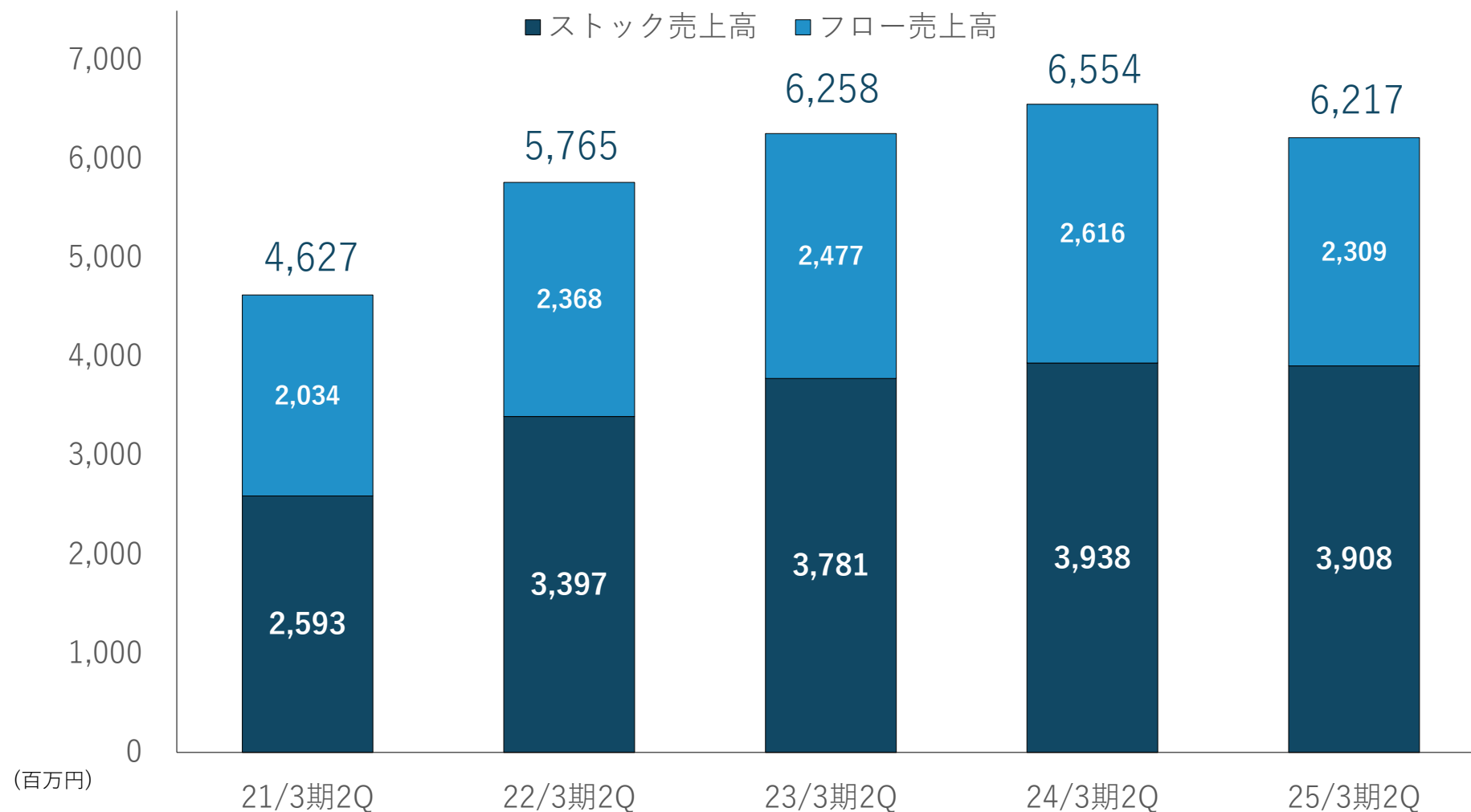
連結売上高及び営業利益推移 (第2四半期)

売上高は減少したものの、営業利益及び営業利益率は増加しました。



フロー・ストック別売上高推移 (第2四半期)

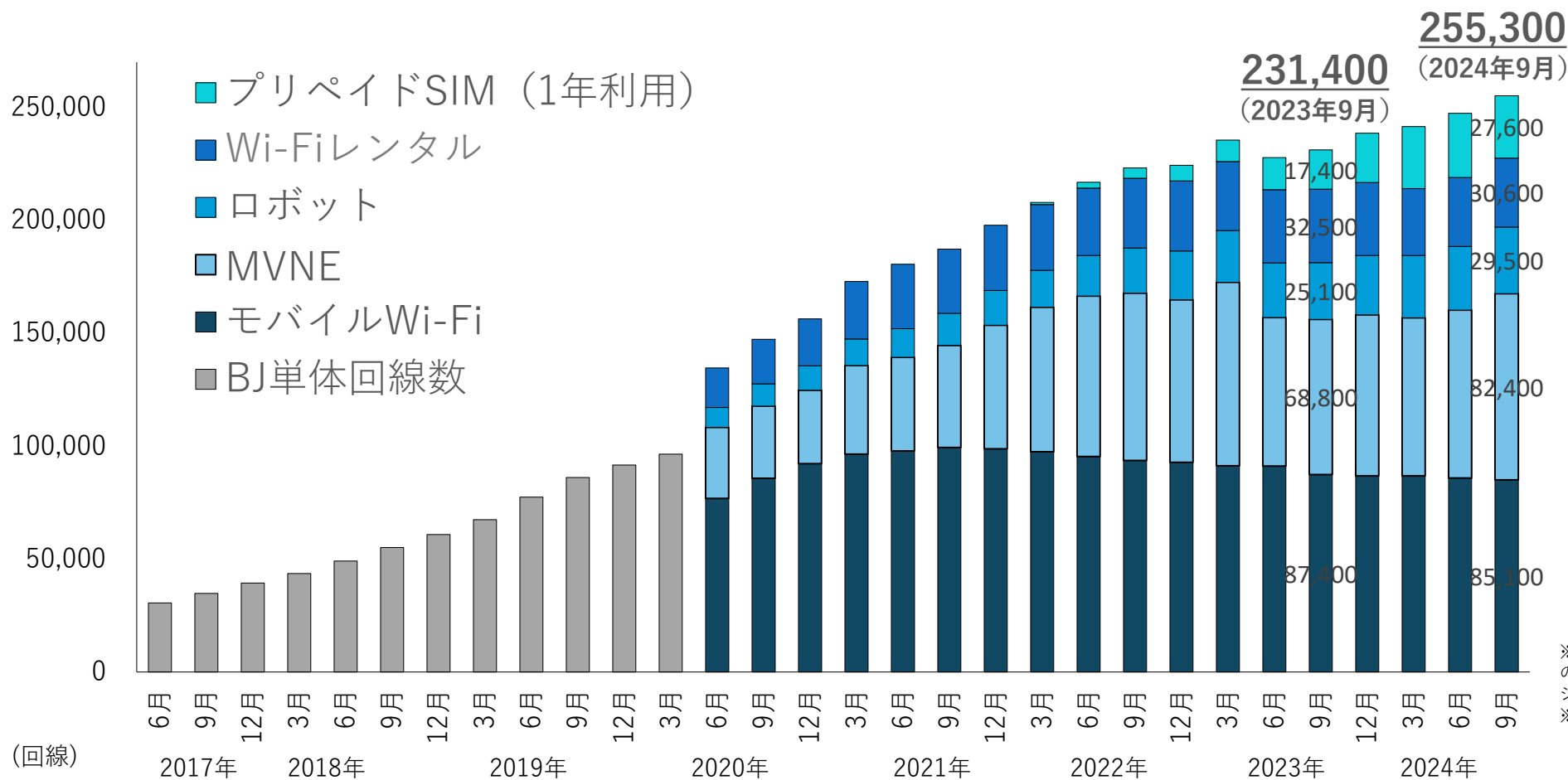
第2四半期ストック売上高は約39億円（前年同期比△0.7%）となりました。



※事業の変遷に伴いストック売上高の定義を変更し、以下としています。
①インターネット通信サービス事業の毎月の通信料とオプション利用料（MVNE含む）
②ロボット事業毎月の通信料とオプション利用料
③天然水宅配事業などにおける利用料金

契約回線数の推移

外国人労働者、外国人留学生の需要増でプリペイドSIM（1年以上利用）は27,600回線（前年同期末比+58.7%）、MVNEは82,400回線（前年同期末比+19.8%）に増加。ロボットは、29,500回線（前年同期末比+17.3%）に順調に増加。全体の契約回線数は255,300回線（前年同期末比+10.3%）となりました。



※2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の契約回線数。2020年6月以降は、ベネフィットジャングループの契約回線数（区分）
 ※プリペイドSIMの基準を変更しています

IV.2025年3月期第2四半期までの主な取組み

各事業の主な取組み

専用タブレットでロボホン进行操作できる 新機能「ロボリモ」を提供開始

シャープと連携し、シャープが開発したコミュニケーションロボット「RoBoHoN」の当社オリジナルモデル向けに、専用タブレットをリモコンのようにしてロボホンを動作させることができる新機能「ロボリモ」を提供開始しました。



Niterra グループ「YORICOM株式会社」と業務提携

Niterra グループのYORICOMと業務提携し、YORICOMが開発しサービス提供中である、高齢者の自立した日常生活を支援するデジタルコミュニケーションツール「寄り添いコミュニケーション 星輝しおり」を全国のポップアップストアなどでプロモーションを開始しました。



動画サブスクリプションサービス 「DMM TV」の販売を拡大

動画サブスクリプションサービスの「DMM TV」の取扱の拡大に取り組み、コミュニケーションセールス販路及びパートナー販路で約3万件の販売を実現しました。

DMM TV

各事業の主な取組み

新しいSIMの規格である「eSIM」の販売を拡大

インバウンド外国人向けホテルを中心に200を超える企業と連携し、約2万所に販売用の販促物を納入するなど「eSIM」の販売を拡大しました。

eSIM

据え置き型の端末であるホームルーターの販売を開始

コンセントに挿すだけでWiFiが使えるようになる据え置き型の端末であるホームルーターの販売を開始しました。固定回線に代わるものとして需要が見込め、テレマーケティング、携帯併売店などで販売を拡大しました。

Macaroon
CPE



その他の取組み

自己株式取得に係る事項の決定（2024年8月9日）

機動的な資本政策の遂行による資本効率の向上を通じ、株主の皆さまへの利益還元を図るために自己株式の取得を行うことを決定しました。

取得する株式の総数：100,000株（上限）
※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.69%

株式の取得価額の総額：
110,000,000円（上限）

取得期間：
2024年8月13日～2025年8月12日

IR情報サイト「ログミーファイナンス」に2024年3月期決算説明が掲載

2024年3月期決算説明が、IR情報サイトである「ログミーファイナンス」に掲載されました。

媒体名：ログミーファイナンス
内容：2024年3月期決算説明
ウェブサイト：

<https://finance.logmi.jp/articles/379516>

特設ウェブサイト「ひと目でわかる！ベネフィットジャパン」公開

事業概要、特徴と強み、業績推移などが、ひと目でわかる特設ウェブサイト「ひと目でわかる！ベネフィットジャパン」を公開しました。



ウェブサイト：
<https://www.benefitjapan.co.jp/hitome.html>

ロボット事業のメディア露出の強化

ロボットショップ「ロボットプラネット」のブランディング及び販促強化のためテレビCM及びテレビ、ラジオ番組などの露出を強化



大阪府

- ・みのおキューズモール
- ・阪神梅田本店
- ・アリオ八尾
- ・松坂屋高槻店
- ・高槻阪急スクエア
- ・あべのハルカス近鉄本店
- ・京阪百貨店
- ・すみのどう店/くずはモール店
- ・ヨドバシカメラ マルチメディア梅田
- ・エディオン なんば本店/近鉄あべのハルカス店

滋賀県

- ・近鉄百貨店草津店
- ・イオンタウン彦根

和歌山県

- ・近鉄百貨店和歌山店

ロボットプラネット 検索

関西25会場 同時開催

7/5(金)~15(月・祝)

※店舗により開催期間及び、取り扱い商品が異なります。詳しくはロボットプラネットHPをご確認ください。



Robot Planet

テレビCM
を21エリ
アで実施

テレビなど
30番組以
上でロボッ
ト事業が取
材される

テレビCM：山梨県、福井県、岩手県、高知県、長野県、愛媛県、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、福島県、山口県、宮城県、北海道、愛知県、岐阜県、三重県、秋田県、山形県

番組露出：よ〜いドン！番組内コーナー「週末！ほしガール」（関西テレビ放送）よんちゃんTV（毎日放送）ぐっと（中京テレビ）ドデスカ！☆（メ〜テレ）みんなのテレビ（北海道文化放送）イチモニ（北海道テレビ放送）ラジオな気分、エンボヤージュ フライデー²、サタディ・イン・ザ・パーク、ひるまでウォッチン！（東北放送）突撃！ナマイキTV、アルヨ（東日本放送）ゴジてれChu！（福島中央テレビ）ステップ（テレビユー福島）ナビテレ！（山口朝日放送）mix（テレビ山口）ふるさと絶賛バラエティ いーよ！（テレビ愛媛）王様のランチ内紹介コーナー（あいテレビ）ゆうがたGet！（テレビ信州）ずくだせテレビ（信越放送）5きげんテレビ（テレビ岩手）じゃじゃじゃTV（岩手放送）こうちeye(1部)（高知放送）おじゃまっテレワイド&ニュース（福井放送）スゴろく（テレビ山梨）chu→もく、えび☆ステ（秋田放送）サタナビっ！、トレタテ（秋田朝日放送）とれたて秋のイチ押し Selection、さくらんぼテレサーチ（さくらんぼテレビ）スーパーJチャンネルYTSゴジダス！内キンゴジ（山形テレビ）など

V.2025年3月期通期計画の進捗

2025年3月期の連結業績予想に対する進捗

(百万円)

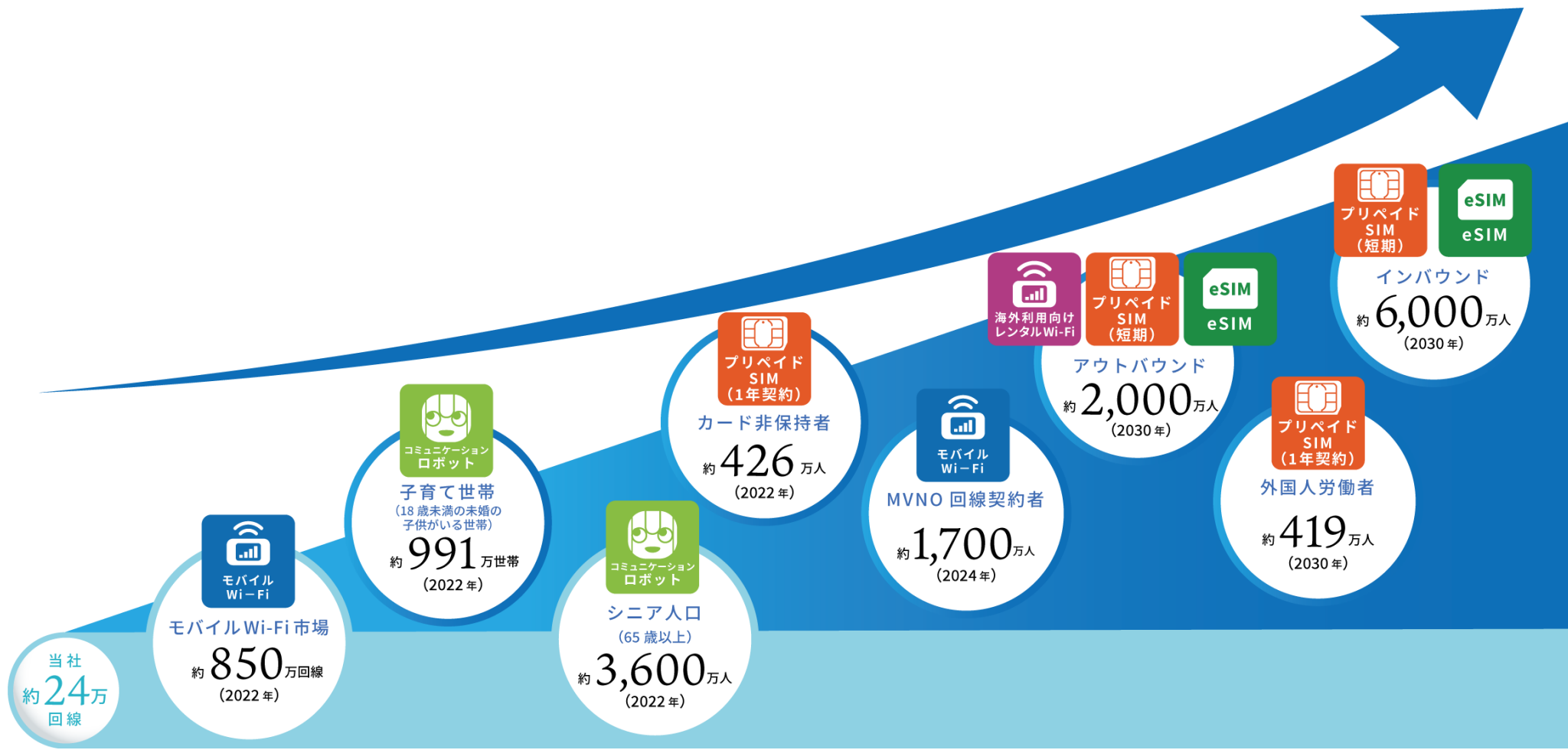
	25年3月期		
	通期計画	第2四半期	進捗率
売上高	12,503	6,217	49.7%
営業利益	1,085	513	47.3%
経常利益	1,090	516	47.4%
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	725	338	46.6%

※通期計画の変更はありません

参考情報

中期経営方針 (23年5月10日発表済み)

24年3月期から既存事業領域である若者層中心のモバイルWi-Fi市場、シニア層中心のコミュニケーションロボット市場に加え、新規事業領域としてコミュニケーションロボットの進化による子育て世帯、プリペイドSIMによるインバウンド、外国人労働者等の領域拡大



中期経営方針 (23年5月10日発表済み)

24年3月期から既存販路である大手商業施設、大手量販店等の優良販路に加え、大手販路を面として抑え、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで提供

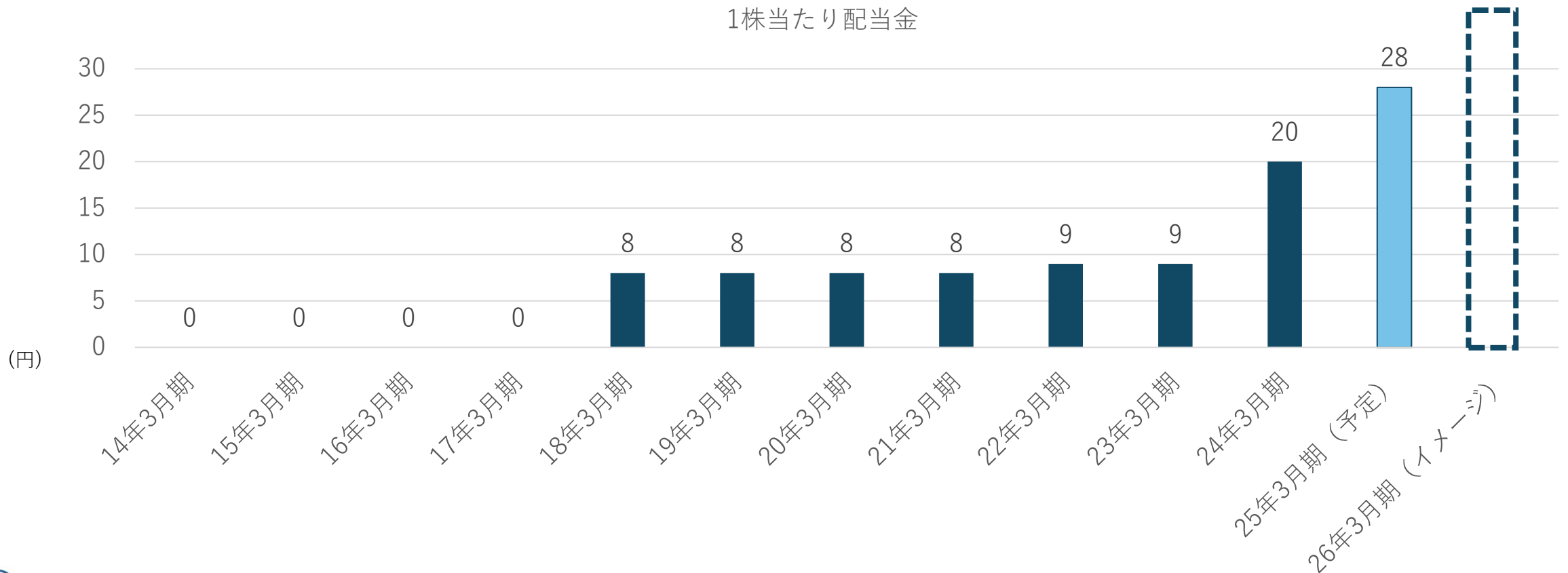


株主還元

【配当の実施】

当社は、配当におきまして利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を前提とし、**2026年3月期までに配当性向 30%へ**（2023年11月10日発表）の順次引き上げを目指しています。

上記方針に基づき、2025年3月期の配当は、2024年3月期比で8円引き上げ28円（2024年5月10日発表）を予想しています。



会社概要



BENEFIT JAPAN Co., Ltd.
株式会社ベネフィットジャパン

設立	1996（平成8）年6月6日
代表取締役	佐久間 寛（さくま ひろし）
本社	大阪市中央区
上場市場	東証スタンダード
証券コード	3934
業種	情報通信業
事業内容	インターネット通信サービス事業、 ロボット事業、その他事業
連結売上高	13,065百万円（2024年3月期）
連結経常利益	900百万円（2024年3月期）
資本金	656百万円（2024年3月末）
グループ全体 従業員数	327名（2024年4月時点）
子会社	(株)モバイル・プランニング (株)ライフスタイルウォーター

強み

当社の強みは、20年以上のキャリアを通じて10,000店舗を超える販売ネットワークを構築し、累計120万人の新規顧客を開拓してきた「コミュニケーションセールス」を核に、大手量販店等の優良販路、価格競争力のある仕入れ、信用力等



数字で見るベネフィットジャパン

安定的なストック売上高、自己資本を基礎に、コミュニケーションロボット、プリペイドSIM等成長事業に投資

連結売上高

7期連続増収
131億円

(2024年3月期)

ストック売上高

売上高構成比60%
78億円

(2024年3月期)

コミュニケーション
ロボット事業売上高

国内トップクラス
28億円

(2024年3月期)

連結経常利益

9億円

(2024年3月期)

自己資本

72億円

(2024年3月末)

自己資本比率

64.7%

(2024年3月末)

ROE

10.6%

(2024年3月期)

従業員数

327名

(2024年4月)

拠点

販売ネットワーク
10,000店舗超

(2024年3月末)

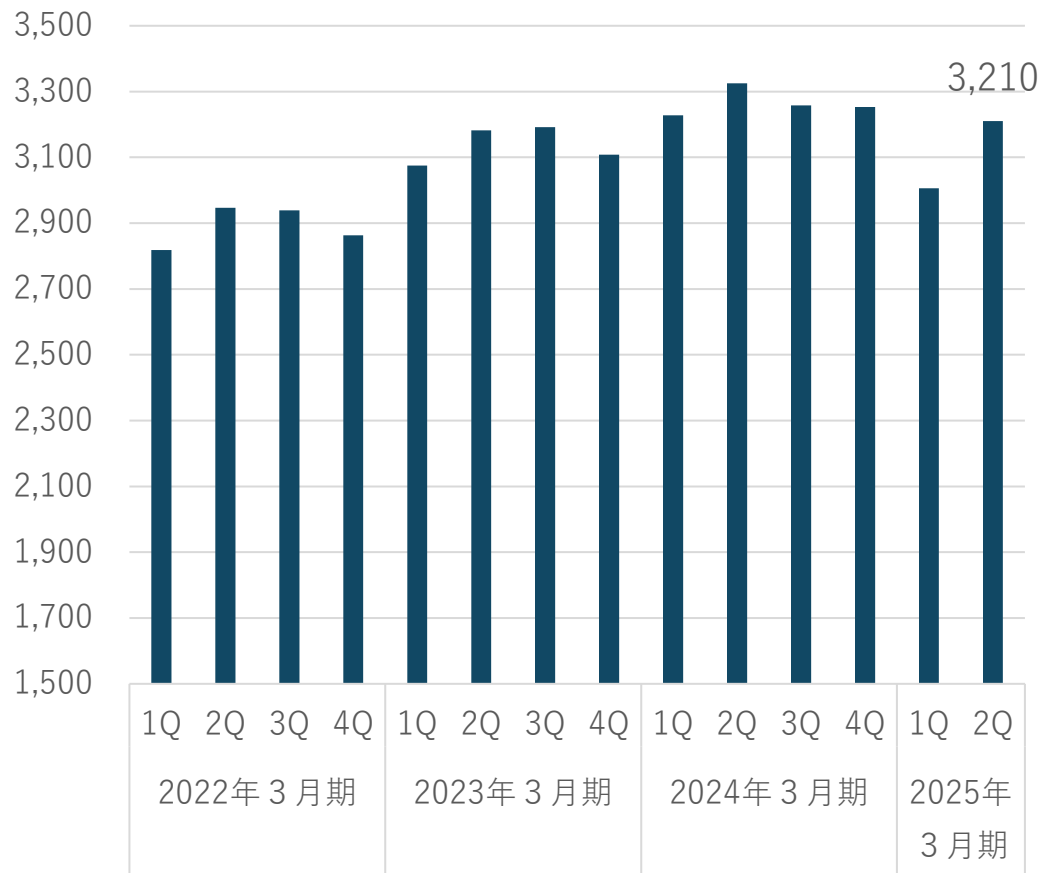
保有契約回線数

インターネット通信
約26万回線

(2024年9月)

連結業績推移

売上高



(百万円)

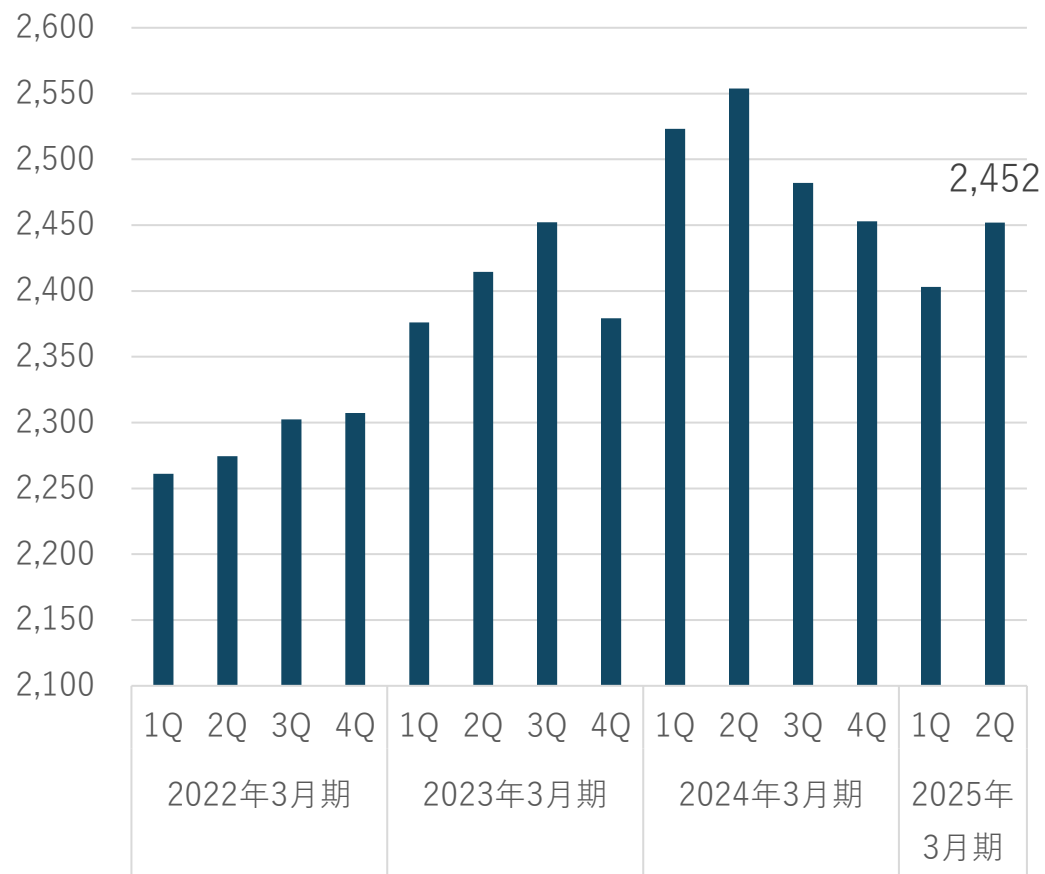
経常利益及び経常利益率



(百万円)

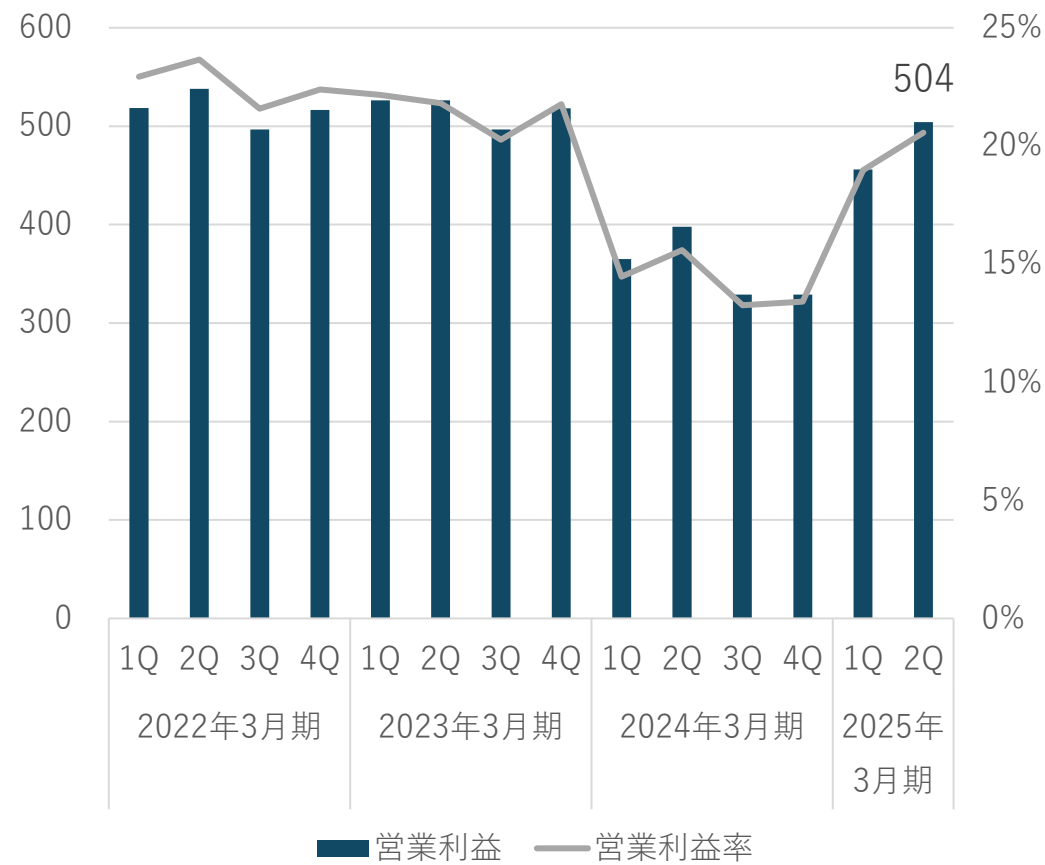
インターネット通信サービス事業業績推移

売上高



(百万円)

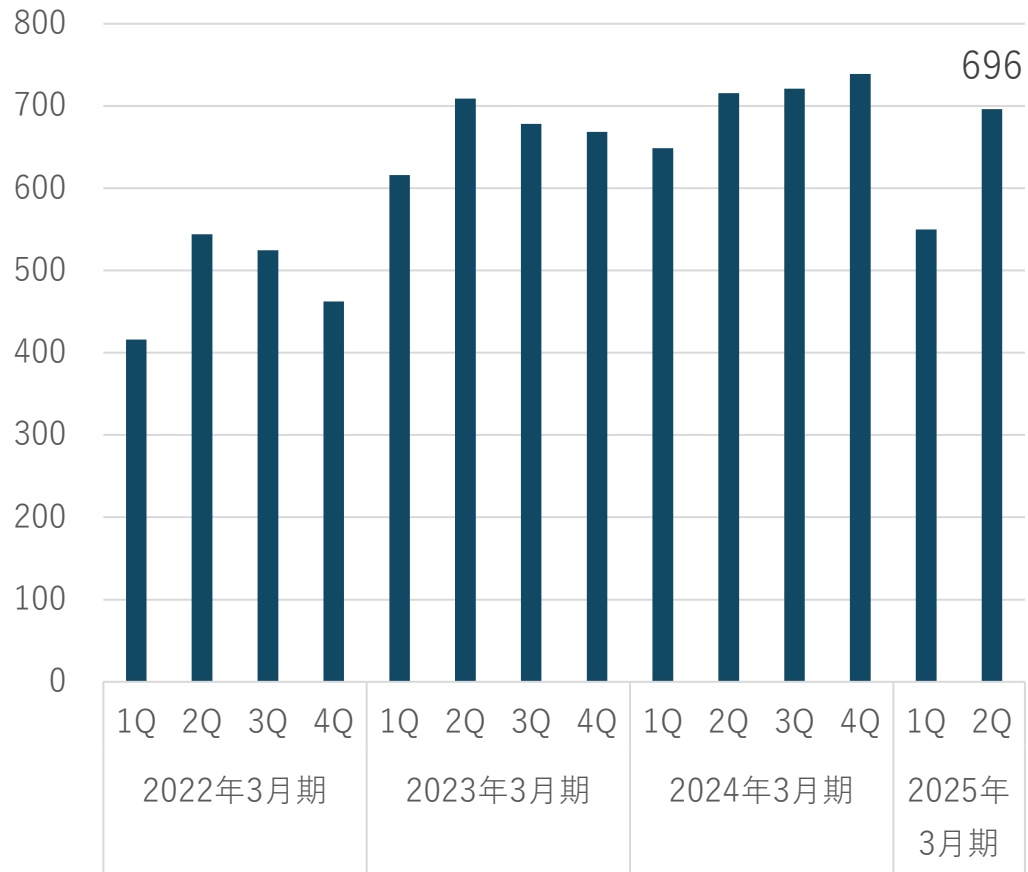
営業利益及び営業利益率



(百万円)

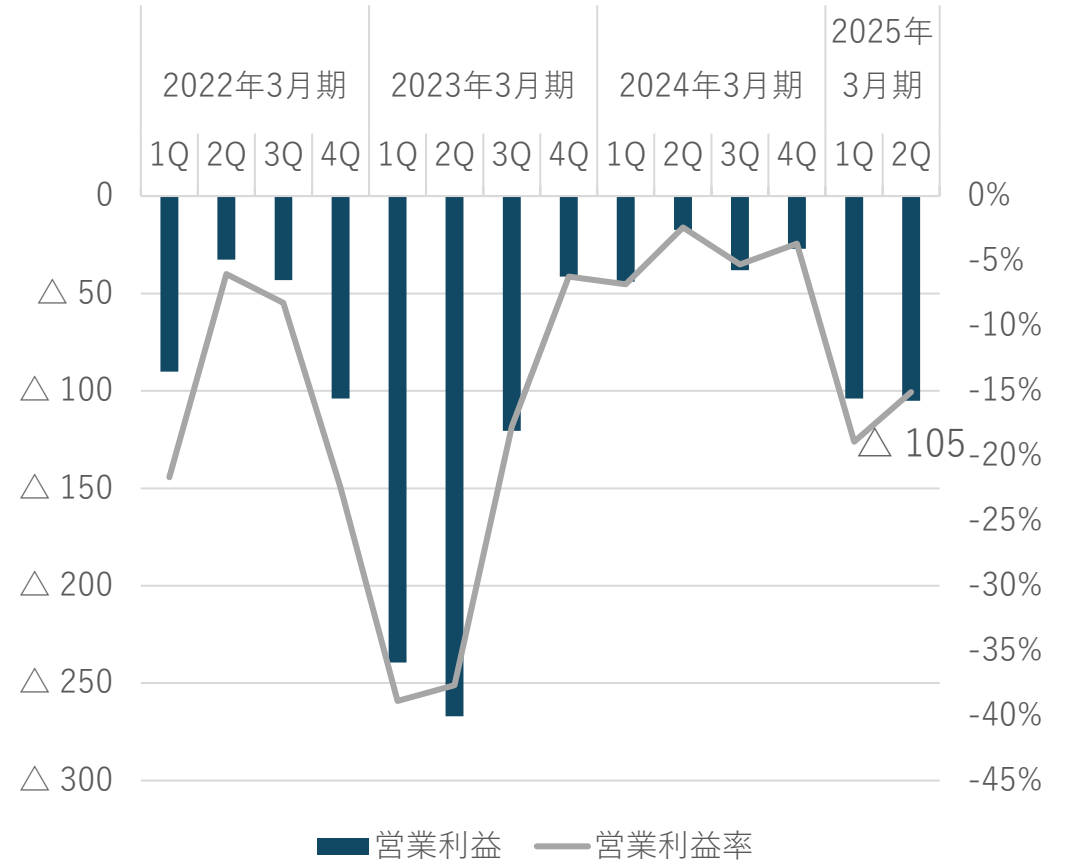
ロボット事業業績推移

売上高



(百万円)

営業利益及び営業利益率



(百万円)

免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ベネフィットジャパン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において掲載されている情報の中には、資料作成時において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、いわゆる「見通し情報」

（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!